

「在タッチ」 の取り組み

1. 相談を受け、一緒に考える

医療・介護従事者や市民からの相談を受け付け、不安や疑問を整理し、これからのことを一緒に考えます。

2. 必要な人・サービスにつなぐ

日常の療養支援のほか入退院、急変時、看取りなど、状況に応じて適切な支援につなげるとともに、医療と介護がスムーズに連携できる体制を構築します。

3. 在宅医療や制度の情報を伝える

地域の医療・介護資源を把握し、分かりやすく情報提供を行います。

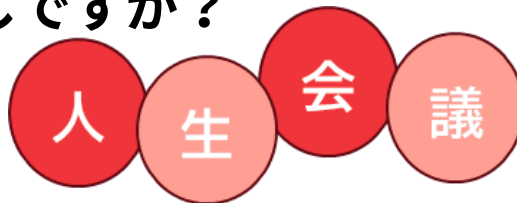
4. 話す・考えるきっかけをつくる

医療・介護・福祉職員向けの研修を実施し、在宅医療や多職種連携の推進に取り組みます。
市民向け出前講座では、一人ひとりが自分のこととして考える機会をつくります。

5. 行政と関係機関の調整役となる

行政や関係機関と連携し、地域に必要な支援や仕組みづくりを進めます。

ご存じですか？



人生会議 (ACP：アドバンス・ケア・プランニング)とは
未来のあなたを守るための話し合いです。

最期まで「自分らしく生きる」ために
次の3つのステップを、
元気なうちから始めてみませんか。



考えてみる

どんな暮らしを大事にしたいか
どんな治療を望む (望まない) か
自分の思いに気づく。

話してみる

自分の思いを家族や信頼できる
友人、医療・介護の担当者に伝える。

つなげて いく

自分の思いを大切な人や支援者と
共有し、これからにつなげていく。
体調や気持ちの変化に合わせて、
何度でも話し合う。

在宅医療・介護の相談窓口

福島市在宅医療・介護連携支援センター「在タッチ」

〒960-8002 福島市森合町10-1

福島市保健福祉センター3階

TEL：024-572-6671 FAX：024-572-6672

E-mail：frenkeizaitachi@gmail.com

受付時間：月曜日～金曜日 8:30～17:00

(年末年始・祝日を除く)

ホームページを
ご覧ください

在タッチ



福島市
在宅医療・介護連携支援センター

在タッチ

「在タッチ」は
在宅医療・介護の
相談窓口です。

つなぐ

必要な人・サービスに
つながります。

相談を受け
一緒に考えます。

支える

伝える

在宅医療や制度の
情報を伝えます。

「在タッチ」の理念

「最期まで自分らしい生き方・逝き方
ができる福島市」を目指します。

最期まで自分らしく生きるために

市民
向け

「在タッチ」出前講座のご案内

「あなたは、何を大切に、どこでどんな暮らしをしたいですか？」
誰にでも訪れる「もしも」のとき。住み慣れた地域で、あなたの大切な人たちとの
つながりの中で、最期まで自分らしく笑って過ごしてほしい。そんな願いを込めて、
「在タッチ」では皆さんの「これからの歩み」を一緒に考えるお手伝いをしています。

「まだ先のこと」と思わず、今だからこそ話せる未来があります。
まずは気軽な「出前講座」から始めてみませんか？

選べる3つのテーマ

話す

考える

知る

「もしバナゲーム」 体験講座

カードゲームを通じた対話
で、もしもの時の価値観を
共有します。

「わたしの人生ノート」 書き方講座

福島市版エンディングノー
トの紹介と、具体的な書き
方のコツを解説します。

わかりやすい 「在宅医療」のお話

在宅医療の仕組みや家で過ごすた
めの支えについて、分かりやすく
お話します。

講座でお伝え

メリット

楽しみながら、自分にとっ
て「本当に大切なこと」を
再発見し、家族へ伝える第
一歩に。

「何から書けばいいの？」
が解決。前向きに人生を振
り返るきっかけになりま
す。

「最期まで自宅で過ごせるの？」
という疑問にお答えします。
在宅医療を知ること、
“自分は
どうしたいか”を安心して考える
きっかけになります。

参加された方の声

家族や大切な人に伝える
こと、聞き合うこと
の大切さが理解できた。
さっそく話してみたい。

人生ノートを書く
ことは、これからの
人生を前向きに考える
きっかけになると
思った。

自分のことなのに
全然知らないのだと
気づいた。もしバナ
ゲームを通して改めて
自分を知れた。

一人暮らしでも
在宅で医療やケアを
受けながら最期を迎え
られると分かって
安心した。

お申し込み・ご利用条件

ご近所の集まりや、いつもの仲良しグループ
でお気軽にご活用ください。

対象：5名以上のグループ・団体
(少人数の地域コミュニティ大歓迎！)

会場：主催者様(皆様)で準備を
お願いします。

日時：月～金曜日 10時～15時の間
(年末年始・祝日を除く)

時間：1講座60分～70分程度

